



はくい (HAKUI)

平成26年10月号(2014)

市議会だより

No.63

設置目的

- ① 市民に市議会の活動状況、情報を提供し、
- ② 市民との意思疎通手段を多重化しながら、
- ③ 市民の要望を市政に反映させるとともに、
- ④ 分権時代に向けた市議会の活性化を図る。

発行者／石川県羽咋市議会

編集者／市議会だより編集委員会

住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地

TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210

<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

主な内容

一般質問……………	2
各委員会報告……………	8
市民の声……………	10



能登五市議会議員研修 (珠洲市)

第6回定例会の概要

平成26年第6回羽咋市議会定例会が9月1日から9月17日までの17日間開催された。提出された案件は平成26年度羽咋市一般会計補正予算など、議案7件、報告1件、認定7件の計15件。

初日の提案理由説明で山辺市長は、8月の豪雨による被害状況とその対応、自主防災組織の強化をはじめ、土砂災害ハザードマップの再点検やがけ地防災対策工事等補助金の新設など、地域防災力の強化について説明し、「第6次羽咋市行財政改革大綱」、「滝町の県営ほ場整備事業」、「農村再生支援事業」、「社会保障・税番号制度」、「駅東定

住促進分譲地」、「羽咋中学校スクールバスの運行」などについても説明した。

9日の一般質問では、10氏が質問に立った。

17日の最終日の採決では、平成26年度一般会計補正予算1億8,763万2千円など市長提出議案5件を全会一致または賛成多数で可決。

継続審査も含めた請願3件のうち2件については継続審査とし、継続審査中の請願1件は不採択とした。

市長追加提出議案の教育委員会委員の任命と監査委員の選任については、2件とも同意した。



浜名 等 議員

市民の要望を早期実現せよ！



幅員が狭い太田町の市道

旧吉崎川の跡地を利用し、市道の拡幅整備を！

【質問】 太田町町会では、町内を通る市道の幅員が狭いことから、水量の減った旧吉崎川を埋め立てすることで道路を拡幅し、有効活用することにより、「緊急時の安全・安心の確保をしたい」と昨年から市政懇談会に地区要望として提出している。現在の進捗状況と整備方針については。

【答弁】 現在、石川県は跡地の有効活用に向けて、河川の廃止手続きを行っている。今後も引き続き、早期の跡地整備を石川県に要望していく。

墓地公苑の造成計画に合葬式墓地の導入を！

【質問】 近年、少子・高齢化に伴い、お墓の継承者がいない世帯や独身者の増加などの理由により、費用が少なくて済む合葬式の墓地を望む声が

ある。このようなお墓は、お亡くなりになられた方の御遺骨を共同で埋葬するお墓であり、15万程度の費用で購入できることから最近広く注目を集めている。本市においても合葬式墓地の導入について、検討をしてはどうか。

【答弁】 羽咋市墓地公苑は、全体で568区画、現在の空き区画は5区画。

合葬式墓地については、社会情勢の変化などにより墓地に対するニーズが多様化していることから、今後の検討課題にする。

その他の質問

- ①鹿島路町笹尾土石流の安全対策について
- ②災害活動の経費軽減について
- ③自主防災組織の強化について
- ④野田川の2級河川昇格について



寺井 哲也 議員

住みよい羽咋を！



豪雨によるがけ崩れ

豪雨災害について

【質問】 ①市内には、土石流を防ぐため何カ所の堰堤が現在設置されているのか。②設置されている堰堤の現状把握はどうなっているのか。③豪雨のたびに被害が出る場所を把握していると思うが、その場所について今後の対応をどうするのか。

【答弁】 ①県の砂防事業による堰堤が23カ所、農林部の治山事業による谷止めダムが13カ所設置されている。②職員のパトロールや地元町会等からの情報提供等に基づき、堆積土砂の除去や補修を県に要望している。今後も状況把握と適切な管理が図られるよう努めたい。③原因を調査し、効果的な対策を検討し緊急度や予算を踏まえ可能な箇所から被害防止対策の実施に努めたい。

定住促進等羽咋の未来について

【質問】 特色あるまちづくりは定住人口促進において大変重要であり、国の動きを敏感に察知し、羽咋独自の取り組みをつくる必要がある。①市民を交えたまちづくりに関する会議等を行なう予定はあるのか。②若者定住の当事者となる、高校、大学生から意見をもらう必要があるのではないかと。③若者を含め市民から幅広く意見を取り入れることを検討したい。

その他の質問

- ①議決に該当しない契約等の報告について
- ②スポーツによるまちづくりについて



山本 泰夫 議員

羽咋中学校スクールバス 運行計画



羽咋中学校

スクールバス運行計画？

【質問】 一ノ宮、上甘田地区からの羽咋中学校へ通学する生徒が65名である。通学援助として、定期購入費の1/2が助成されている。

リノベーション事業の一環として、マイクロバス1台739万円(予算)を購入予定である。運行計画については、何便予定か。定期購入費を全額負担した場合の経費は。スクールバスの年間維持管理費は。今後の鹿島路、越路野地区のスクールバス運行計画の考え方は。公共交通機関であるJR七尾線、北鉄バスに乗らなくなると廃線になる危機が訪れないとも限らない。どのように考えているのか。

【答弁】 運行計画は平日、午前1便午後2便、土曜日の部活動に対応し、午前午後各1便運行予定。一ノ宮、上甘田地区の定期購入費を全額負担の場合370万円である。運行委託費を含めた維持管理

費は年間約700万円である。鹿島路、越路野地区については検討する。赤字路線バスの運行に対し補助を行っており、今後も公共交通機関への支援を維持する。

子供医療費の課題

【質問】 中学生までの子供医療費の完全無料化だが、総合窓口課に領収書を提出しなければならない。医療機関からの請求システムはできないのか。

【答弁】 医療費が増大することが懸念される。医療機関では市への請求事務が発生するため、医師会関係機関との協議が必要になる。今後の検討課題とする。

その他の質問

- ①太陽光発電について
- ②観光交流イベントについて



稲村 信成 議員

市民の安全・安心の為に 行政対応の見直しを！



安全な憩いのユーフォリアに！

道の駅これありきの検討では税金垂れ流し！

【質問】 道の駅は千里浜IC近くで「ここ・これ」ありきの検討と聞く。北陸50・石川23ヶ所あるが、施設の建設・維持は行政税金負担。それでも赤字が多いと聞く。成功・繁盛は全国でもまれとか。今の検討では市の活性どころか衰退になる。県内外から羽咋へ行きたいとの魅力を探求し、全責任をもって小から大へ育てる人に任せろ。行政は口を出さない。これが秘訣と聞く。また、道の駅と千里浜レストハウスの共存を問う。

【答弁】 推進委員会でも採算性を重視の意見であり、継続して経営的に成り立つ施設かが道の駅の運営における重要なポイントと認識している。千里浜レストハウス・ゆ華との連携も図る。

憩いの場ユーフォリアの安全安心の確保を！

【質問】 8月末に市民の常連男性77才の方が、プールで体調不良となるも発見が遅れ、救急搬送されたが亡くなられた。日曜日で子供たちも遊んでいたが、監視員がいないため早期対応が遅れた。安全管理とお客様・市民の満足をしっかり検証すべきである。来場者が減ったと聞くが状況を問う。

【答弁】 当面、安全管理、施設の維持管理、接客等、協議を進める。プールには監視員1名を配置する。5月からの4カ月来場は6万4,040人で、前年比で7,600人の減少である。

その他の質問

- ①早く丁寧な防災情報について
- ②デマンド交通体制の導入について



櫻井 英一 議員

豪雨災害を教訓とする今後の 防災対策を聞く



眉丈第2トンネル出口の法面崩落現場

防災対策の見直しが必要

【質問】 本市における8月の雨量は、昭和51年の観測開始以来最大を記録し、市内全域で多くの被害が発生した。この教訓をどう活かすのか、見直しを含めた今後の防災対策を聞く。

【答弁】 今後、災害等が予想される時には早目の避難を呼びかけるよう、各種広報手段を使って市民に情報伝達を行っていききたい。また、自主防災組織が未組織の町会に対し、自主防災組織の重要性を説明する出前講座や防災研修会を開催し、早急に立ち上げていただけるよう要請していく。さらに、防災・減災情報の交換を行う機会を設け、地域の防災力強化につなげることを目的とした自主防災組織連絡会を設立し、相互の連携強化を図っていく。

国道159号羽咋道路、国道415号羽咋バイパス建設促進

【質問】 交流人口の拡大や地域経済の活性化、災害に強いネットワークの形成などの観点から重要な国道であり、着実な事業推進と早期完成が望まれる。両国道建設の進捗状況を聞く。

【答弁】 平成26年度、国道159号羽咋道路は余喜・邑知地区で用地買収等が実施される予定。国道415号羽咋バイパス建設は福水町で飯山川の護岸工事及び中川町で山の切り土工事等が実施される予定。今年度の主な要望活動は、国土交通省4回、北陸地方整備局2回、金沢河川国道事務所2回の計8回行っている。

その他の質問

①全国学力テストについて



浅野 俊二 議員

災害は忘れないうちにくる。 対策を急げ!!



倒壊した空家 (川原町)

空き家対策を急げ

【質問】 異常気象で西日本を中心に多数の犠牲者が出た。当市でも犠牲者が出た。御冥福をお祈りし、二度とこのような事故を起こしてはならない。今後は温暖化の影響で台風や前線の被害が顕著になると気象庁が言っている。全国的にも家屋倒壊のおそれや強風のため危険がある場所、所有者への勧告、措置命令、行政代執行による解体などについても条例化される自治体が増えている。①市内の空き家の数と実態について。②検討委員会の設置と条例化を急げ。③空き家の今後の利用対策はどうなっているのか。

【答弁】 ①空き家率は約20%で、空き家数は約1,800戸、そのうち老朽空き家が約90戸と推定し

ている。②秋の臨時国会に改めて法案が出される予定であり、法案の成立を踏まえて今後の対応を決める。③本市では現在、空き家情報バンク制度や空き農家情報バンク制度を活用しながら定住促進につながる利用方法を検討したい。

観光交流拠点整備構想を急げ!!

【質問】 新幹線の金沢乗り入れを来春に控え、相乗効果を発揮する論議が重要だ。①推進委員会の論議状況と今後の具体的スケジュール。②ゆ華と里山海道の間の保安林解除は道の駅をどこにするのか別にして非常に重要だ。県と交渉せよ。

【答弁】 ①5回にわたり視察や論議をした。9月末に提言を受け、議会に説明する。②景観地で防風林的役割もあり、県と鋭意交渉する。



塩谷 久司 議員

防災意識の変革と 自己防衛対策は



眉丈トンネル復旧工事

早めの情報伝達と避難体制の整備で空振りOK

【質問】 防災工事は膨大な予算、年月が必要。ハザードマップで危険場所の周知や警戒避難体制の整備等ソフト面の対策は。また、自分で身を守る自助、避難困難な人は地域の力で共助、素早い避難の考えと自主防災組織の強化および子供の防災教育は。民有地の災害防止は所有者の務め、警戒避難体制の整備等を問う。

【答弁】 気象状況を踏まえ、被害想定を再調査し、警戒区域の見直しを県に要望する。ハザードマップの改正や再配布等を行う。

また、地域防災力の強化が必要不可欠。意識の高揚と知識の普及で迅速な避難をするため防災訓練、自主防災組織の結成促進、学校での防災教育

の充実に努める。民有地の住宅被害防止は、対策工事等へ補助制度を新設して、幅広く防災基盤強化に取り組む。

人口減少対策と地域の自立活性化は

【質問】 政府は、県や市が原則自由に使える交付金の創設を検討している。自治体間競争となるが本市の対応は。

【答弁】 国の地方創生への取組みを最大のチャンスと捉え、国の動向に注視し準備を進めていきたい。



北川 真知子 議員

土砂災害予防・復旧工事費の 住民負担軽減を



飯山町地内がけ崩れ

がけ地防災工事への住民負担の軽減を求める

【質問】 ①住宅に隣接する危険な傾斜地は、市内にどれくらいあるのか。②市が単独で実施する私有地のがけ地対策事業補助金を工事費の半額とする根拠は。③県の事業で行う場合は3割住民負担であるが軽減できないか。

【答弁】 ①市内で72カ所指定されている土砂災害警戒区域内のうち、住宅に隣接する急傾斜地崩壊危険箇所は15カ所が指定されている。一方、指定以外で住宅に隣接する急傾斜地は市内に点在している。詳細な状況は把握できていないが、今後現状把握に努める。②私有地の防災工事は所有者が実施することが基本であり、受益の公平な負担の観点から一定の負担をお願いする。負担率は、

県内市町の状況（県内4市2町は全て2分の1の補助）を参考に定めた。③県単荒廃地復旧事業の受益者負担率3割は、受益者負担の公平性を図るため羽咋市農林水産事業分担金徴収条例に定めている。しかし、事業実施者の負担を軽くするため、負担率の軽減について前向きに検討していく。

高齢者肺炎球菌ワクチンへの助成の増額を

【質問】 10月から高齢者肺炎球菌ワクチンは、法の改正で定期予防接種となる。接種しやすい自己負担となるよう助成を求める。

【答弁】 本市では、高齢者の経済的負担を考慮し、自己負担額は2,000円と考えている。



松永 幸則 議員

一分一秒でも早く 多くの市民に情報を伝えよ



災害時の一分一秒でも早い情報は人の生死を分ける

10分以内に情報発信し、メールも導入せよ

【質問】 市民の皆様への情報提供が遅い。第一報から10分以内の発信を目標値として設定し、かつ全庁で意識を共有せよ。市役所や学校にもメールを導入せよ。

【答弁】 防災情報を収集し、内容について早急に精査し10分以内を目途に防災行政無線等を利用して情報発信し、全庁的に実施する。メールも早急にシステム導入を実施する。

【教育長答弁】 メール配信を実施していない学校には、保護者に対してメール配信の希望を確認する。

自然栽培の魅力や価値を理解し、注力せよ

【質問】 自然栽培は安倍内閣総理大臣夫人も高い

関心を寄せており、また食品の機能性表示解禁も追い風である。魅力や価値を市はもっと理解し、伝えよ。

【答弁】 自然栽培の取り組みを世界農業遺産の構成資産に位置づけていきたい。自然栽培農産物の生産拡大を支援し、加工品の開発やブランド化に取り組み、販売拠点づくりを進め、あわせて本市が計画している道の駅等を活用し広く情報発信できるように検討する。

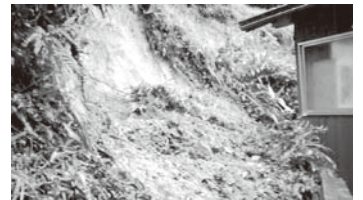
その他の質問

- ①市民の安全安心を守ることの仕組みおよび体制について
- ②子どもたちの安全安心および教育について
- ③市民のための自然の魅力を活かした町について



大塚 幸男 議員

知恵と勇気ある行動で、 夢と希望を！



犠牲者が出た裏山の土砂崩れ

土砂崩れによる犠牲者を教訓にした対応

【質問】 各地区や町会によって立地条件が異なり、災害の種類や状況により住民の心構えや対応が違って来る。個々の意識の高揚も含め、きめ細やかな対応が求められるが、その具体策と自主防災組織の実態と活動状況、充実強化策は。また、在住外国人を対象にした防災事業の実施や増加する外国人観光客への対応を示せ。

【答弁】 各種防災訓練への参加や防災出前講座を開催し、防災意識の向上と防災力の強化、支援を行う。防災土育成事業のスピード化と相互の連携強化を図る。外国人には、防災心得や避難場所などの外国語表記を検討したい。

千里浜インター周辺観光交流拠点整備構想の進捗

【質問】 推進委員会から基本構想の提言を受けた

後、基本計画を策定することになるが、関係団体や関係町会などの理解が必要であり、市長の基本スタンスと進め方は。道の駅は観光客が魅力を感じ、地元への受け入れが重要。施設の核をどうイメージしているのか。羽咋市の顔整備として、既存施設との連携強化が不可欠であるが、考えは。

【答弁】 関係者に説明し、意見を伺いながら進めていく。魅力付けの柱は人と自然の共生と考え、羽咋の魅力を具現させ、地域の活力を生み出すことができる拠点づくりを目指す。本市観光施設への誘導、能登全体に関する情報発信の役割も担う機能を持たせ、誘客拡大に結びつけたい。

その他の質問

- ①滝町県営ほ場整備事業の負担と他地区への適用について

平成26年 第6回定例会 9月議会

◇平成26年度の一般会計予算をはじめ全議案を可決

平成26年度羽咋市一般会計補正予算(第3号)、羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)、羽咋市介護保険特別会計補正予算(第1号)、羽咋市税条例等の一部改正、羽咋市一般会計補正予算(第4号)についての5件及び人事案件2件を原案のとおり可決した。請願2件、「農業改革に関する」、「政府による緊急の過剰米処理を求める」意見書提出を求める請願については、継続審査とした。なお、継続審査となっていた「T P P交渉の内容開示等を求める」請願については、不採択とした。また、市長提出認定第1号から第7号、平成25年度羽咋市一般会計歳入歳出決算の認定他6件については、継続審査とした。

議決番号	議案番号	件名	議決年月日	結果
議決第56号	市長提出議案第35号	平成26年度羽咋市一般会計補正予算(第3号)	H26.9.17	原案可決
議決第57号	市長提出議案第36号	平成26年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	H26.9.17	原案可決
議決第58号	市長提出議案第37号	平成26年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第1号)	H26.9.17	原案可決
議決第59号	市長提出議案第38号	羽咋市税条例等の一部改正について	H26.9.17	原案可決
議決第60号	市長提出議案第39号	平成26年度羽咋市一般会計補正予算(第4号)	H26.9.17	原案可決
議決第61号	市長提出議案第40号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	H26.9.17	原案可決
議決第62号	市長提出議案第41号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	H26.9.17	原案可決
	請願第9号	農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する意見書提出を求める請願	H26.9.17	継続審査
	請願第10号	政府による緊急の過剰米処理を求める意見書提出に関する請願	H26.9.17	継続審査
	継続審査請願第2号	T P P交渉の内容開示等を求める請願	H26.9.17	不採択
	市長提出認定第1号	平成25年度羽咋市一般会計歳入歳出決算の認定について	H26.9.9	継続審査
	市長提出認定第2号	平成25年度羽咋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	H26.9.9	継続審査
	市長提出認定第3号	平成25年度羽咋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	H26.9.9	継続審査
	市長提出認定第4号	平成25年度羽咋市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	H26.9.9	継続審査
	市長提出認定第5号	平成25年度羽咋市千里浜財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	H26.9.9	継続審査
	市長提出認定第6号	平成25年度羽咋市水道事業会計決算の認定について	H26.9.9	継続審査
	市長提出認定第7号	平成25年度羽咋市下水道事業会計決算の認定について	H26.9.9	継続審査
		各常任委員会及び議会運営委員会所管事務の閉会中の継続調査申出書	H26.9.17	決定

総務文教常任委員会報告

◎塩谷 久司 ○寺井 哲也 浜名 等 新田 義昭
高田 甚哉 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会で付託された案件は、議案第35号「平成26年度羽咋市一般会計補正予算（第3号）」中、当委員会所管分など議案3件。慎重に審査を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決した。審査過程においての主な質疑・要望は以下のとおり。

【質問】 基盤整備事業分担金について、滝地区の受益者から、ほ場整備の負担金として納入してもらうものなのか。

【答弁】今年度の、ほ場整備事業費6,000万円の7.5%、450万円は、滝地区の地権者が負担するものであり、地元協議会が取りまとめて納めるものである。

【質問】 ふるさと納税推進事業について、インターネット業者を利用して宣伝すれば、さらに効果があがるのではないか。

【答弁】委託費用などを検証し、他市の状況を見ながら検討したい。

その他以下について詳細な説明を受けた。

市長提出議案第38号「羽咋市条例等の一部改

正」について

- 1 原動機付自転車は1,000円が 2,000円
- 2 軽自動車及び小型特殊自動車2,400円が 3,600円
軽自動車 自家用7,200円が 10,800円
それぞれ引き上げになるが、車種によっては異なる

市長提出議案第39号「平成26年度 羽咋市一般会計補正予算（第4号）」について

今度の大雨被災に付き農林水産業施設災害復旧費及び公共土木施設災害復旧費の補正予算である。



ほ場整備予定地

産業厚生常任委員会報告

◎大塚 幸男 ○松永 幸則 北川 真知子 櫻井 英一
稲村 信成 中村 重幸 中村 孝清

当委員会で付託された案件は、議案第35号「平成26年度羽咋市一般会計補正予算（第3号）」中、当委員会所管分など、議案4件、請願3件。慎重に審査を行った結果、一般会計補正予算（第3号）については、賛成多数により可決した。残りの議案3件については全会一致をもって原案のとおり可決した。請願3件のうち、請願第9号「農業改革」に関する意見書を求める請願、及び請願第10号「政府による緊急の過剰米処理を求める意見書提出」に関する請願については、国が示す農業改革の内容等を精査する必要があることから、継続審査とした。本年3月定例会から継続審査となっている請願第2号「TPP交渉の内容開示等を求める」請願については、賛成少数により不採択とした。審査過程での主な質疑・要望は以下のとおり。

【質問】 8月の豪雨に伴う土木関係及び農林水産関係の災害復旧費は、それぞれいくらか。また、災害復旧費の総額に対する市の実質負担はどの程度か。

【答弁】土木関係費で、約4,800万円、農林水産

関係費で約1億2,870万円となる。市の実質負担割合は、国・県の補助金、災害復旧事業債、交付税措置を考慮すると、復旧総額費の1割を下回る負担となる見込みである。

【質問】 高齢者肺炎球菌ワクチンは定期予防接種化されたが、対象年齢以外の高齢者が肺炎球菌ワクチンを接種する場合、全額自己負担となるのか。

【答弁】本市では70歳以上の方については、平成27年3月31日まで2,000円を助成する制度がある。

【質問】 耐震リフォーム支援とは、具体的にどのような支援をするのか。

【答弁】木造住宅の耐震診断を簡易にするものであり、住宅平面図をもとに耐震を診断するものである。

付託案件以外のその他として、子ども医療費窓口無料化、自然栽培に対する対応、介護保険認定審査会の結果通知、市内の砂防堰堤の現況と対策、リノベーション事業の早期着手などについて質問があった。

第1回交流拠点施設整備特別委員会を開催

8月25日、第1回交流拠点施設整備特別委員会が開催された。稲村信成委員長の挨拶に続き、市の担当課より、これまで5回に渡り実施された観光交流拠点づくり推進委員会の進捗状況についての説明があった。参加した委員からは、「もっと交通量調査をすべき。観光交流拠点として周辺地域の整備の精査を求める」、「商業施設の側面が

あるので、成功にはトップとなる人材が重要」、「近隣の施設との連携を」などさまざまな意見があげられた。これに対し市の担当課は、「年間を通じた交通量調査を実施したい」、「構想を踏まえた経営を意識できる方(組織)に管理運営を任せたい」、「連携または差別化が図れると考えている」との答弁があった。

決算特別委員会

◎山本 泰夫 ○寺井 哲也 松永 幸則 浜名 等
北川 真知子 櫻井 英一

第1回決算特別委員会	9月12日(金)	午後1時30分	議会第1委員会室
第2回決算特別委員会	10月17日(金)	午前10時	議会第1委員会室
第3回決算特別委員会	10月28日(火)	午後1時	議会第1委員会室

第38回能登五市議会議員研修会

8月25日、珠洲市において第38回能登五市議会議員研修会が開催された。はじめに能登五市議会議長会会長で七尾市議会議長の桂撤男氏より、「能登の国が団結し、価値観の転換を図って行かなければいけない」との開会挨拶があった。その後、開催市の珠洲市議会上野議長が歓迎の挨拶をされ、続いて来賓として泉谷珠洲市長に祝辞を頂いた。研修会は、全国市議会議長会調査広報部主幹の植田義隆氏による「地方議会の現状と今後の議会運営」という演題で行われた。議会運営のあり方や、専門議員の必要性などについての話があった。また会場から議員定数や報酬についての質問があり、それらについての見解を答えられた。研修会終了後の意見交換会では、珠洲市、輪島市、

羽咋市、七尾市、かほく市の各議員がさまざまな意見を活発に交換した。



ラポルトすずにて



●●● 市民の声 ●●●

情報伝達の充実を！

T.N (中央町・50歳代・男性)

9月某日、十数年ぶりに議会を傍聴しました。8月の豪雨災害を受けての質問が集中していました。羽咋市は災害の少ない住み良い街ですが、豪雨災害は何処でも起こりうる災害です。実際に犠牲者も出ました。減災には正解な情報伝達が一番大切です。平時でも聞き取れない防災無線は豪雨の中、窓を閉めきった状態では絶対に役に立ちません。メールやSNS等を使っての情報伝達を…との意見もありました。先の震災でもラジオが活躍しました。災害時に割り込み放送ができるコミュニティーFMの開設も検討して貰いたいと思います。

第6回定例会を傍聴して

H.N (太田町・60歳代・男性)

9月9日の市議会を傍聴いたしました。今回で2度目の傍聴でしたが、前回と大きく変わっていたことは市長の答弁だけではなく、質問内容によっては担当の課長の答弁があったことです。これはよりスピーディーな質疑の展開が出来、大変良いことだと思います。より早く市政に反映していただき、安全で安心なそしてより魅力的な羽咋市を目指すよう、市議会と執行部をお願いいたします。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は11月下旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信（生中継）しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成26年9月議会の会議録は、12月上旬に閲覧できる予定です。

編集後記

羽咋市内を襲った観測史上最大の豪雨による土砂災害により、亡くなられた方には心よりご冥福を、そして被害に遭われた方には謹んでお見舞いを申し上げます。50年に1回とか100年に1回とかの言葉がもはや毎日のように聞かれるようになった昨今、災害は今この瞬間にも起こるかもしれないと考えて備えをしなければならない時代です。今回私を含めてほとんどの議員が防災についての質問をいたしました。我々行政に関わる者にとって市民の皆様のお安全安心を守ること以上に大切なことはありません。1分1秒でも早い情報の共有は人の生死を分けることがあります。情報はとにかく早く、1人でも多く、いろんな方法で行われるべきです。そのための仕組みや体制に一刻も早く近づけていくことが我々議員、そして執行部のやるべき仕事であると考えています。(松永幸則)

議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長	高田 甚哉
副委員長	寺井 哲也
委員	松永 幸則
	浜名 等
	北川真知子